

令和8年度 災害発生時及び警報等発表時の前芝小・中学校の対応について

保存版

1 登校前に発表された場合

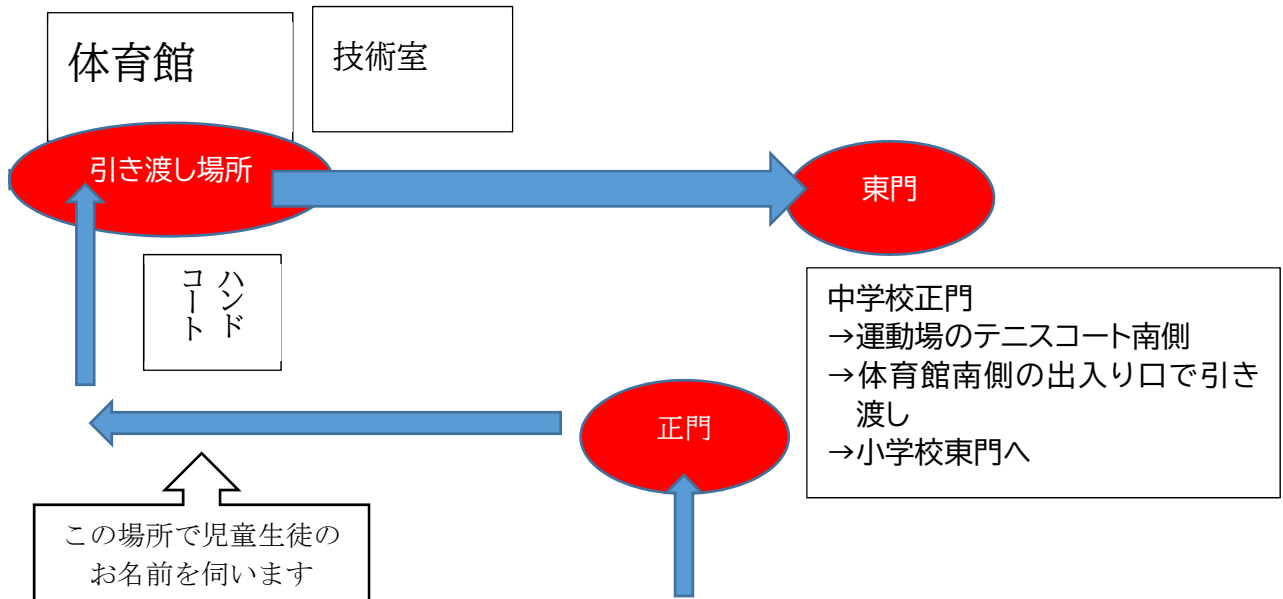
南海トラフ地震臨時情報	調査中	◆続報に注意し、また後発地震の発生に留意しつつ、通常通り登校する。
	巨大地震注意	◆続報に注意し、また後発地震の発生に留意しつつ、通常通り登校する。
	巨大地震警戒	◆前芝校区は事前避難対象地域が含まれるため1週間の休校とする。
	調査終了	◆平常通り登校する。 ※但し、登校が危険と判断した場合は、学校から連絡をする。
暴風警報 暴風雪警報	◆午前6時までに解除されたときは、平常通り授業を行う。 午前6時を過ぎても解除されないときは、休校とする。	
大雨警報 洪水警報 大雪警報	◆原則として平常通り授業を行う。 ※但し、登校が危険と判断した場合は、学校から連絡をする。 ※保護者が児童・生徒の安全を考え登校を見合わせると判断した場合、校長が合理的な理由と認めたとうえで欠席扱いにしない。	
特別警報 (大雨・暴風・波浪・高潮・暴風雪・大雪)	◆登校させない。 ◆特別警報解除後も、児童生徒を安全に登校させようと判断できるまでは登校させない。	
警戒レベル3発令 (高齢者等避難)	◆原則として平常通り授業を行う。 ※但し、登校が危険と判断した場合は、学校から連絡をする。 ※保護者が児童・生徒の安全を考え登校を見合わせると判断した場合、校長が合理的な理由と認めたとうえで欠席扱いにしない。	
警戒レベル4発令 (避難指示)	◆午前6時を過ぎても解除されないときは、休校とする。	
愛知県外海に大津波警報 伊勢・三河湾に 大津波警報・津波警報	◆午前6時を過ぎても解除されないときは、休校とする。	

2 在校中に発生した場合・発表された場合

南海トラフ地震臨時情報	調査中	◆続報に注意し、また後発地震の発生に留意しつつ、平常通り授業を行う。
	巨大地震注意	◆続報に注意し、また後発地震の発生に留意しつつ、平常通り授業を行う。
	巨大地震警戒	◆メール配信等で連絡した上で全児童・生徒は中学校体育館で保護者による引き取りとする。 ◆前芝校区は事前避難対象地域が含まれるため1週間の休校とする。
	調査終了	◆平常どおりの教育活動を継続する。
暴風警報 暴風雪警報	① 安全に下校できると判断したときは、 <u>予め届け出た下記ア～ウの方法をとる。</u> ア 通学団下校(中学校:通常下校) イ 保護者の引き取り ウ 小学校の兄弟と通学団下校(中学生) ② 下校が危険と判断したときは、メール配信等で連絡した上で全児童・生徒は中学校体育館で保護者による引き取りとする。	
大雨警報 洪水警報 大雪警報	◆原則として平常通り授業を行う。	
特別警報 (大雨・暴風・波浪・高潮・暴風雪・大雪)	メール配信等で連絡した上で全児童・生徒は中学校体育館で保護者による引き取りとする。校内に留め置いた場合には、特別警報解除後も、児童・生徒が安全に下校できると判断できるまでは下校させない。	
警戒レベル3発令 (高齢者等避難)	◆原則として平常通り授業を行う。 ※但し、気象状況の変化や教育委員会からの通知によっては、途中で授業を切り上げることもある。 ◆ <u>授業を切り上げた場合については、暴風警報・暴風雪警報が出た時に準ずる対応をとる。</u>	
警戒レベル4発令 (避難指示)	◆ <u>直ちに授業を打ち切り、暴風警報・暴風雪警報が出た時に準ずる対応をとる。</u>	
愛知県外海に大津波警報 伊勢・三河湾に 大津波警報・津波警報 落雷・竜巻等	① 全児童・生徒は若宮八幡社に水平避難し、待機する。(津波が到達するまでの時間が短い場合は全員中学校屋上に垂直避難する。) ② 避難先で全児童・生徒は保護者による引き取りとする。 下校時の安全が確認されない場合は、保護者による引き取りとする。	

※必要に応じて学校からプリントやメール配信等で連絡する。

★実際の引き渡し場所、自動車の経路



★家庭の控え < 在校中における暴風警報等発表時の対応について(提出用紙)に記入したものを記録しておいてください >

暴風・暴風雪警報・警戒レベル4等発表時の下校の仕方

【 ア 通学団下校(中学校:通常下校) イ 保護者の引き取り ウ 小学校の兄弟と通学団下校(中学生)】
 引き取りの時の第1引き取り者() 第2引き取り者()

3 登校途中に発表された場合

・原則として登校し、在校中と同じ対応をする。

4 下校途中に発表された場合

・原則として下校するが、保護者不在で危険と判断した場合は登校し、保護者の引き取りを待つ。

5 弾道ミサイル発射に関わる対応

Jアラートを通じてミサイル発射の緊急情報が発信されたとき	状況に応じて、落ち着いて、直ちに避難行動をとる。 ○屋外にいる場合 ⇒ 近くの建物の中か、地下に避難する。 ○建物がない場合 ⇒ 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。 ○屋内にいる場合 ⇒ 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。
領土領海に落下する可能性	避難解除の指示があるまで避難行動をとる。
領土領海の上空を通過または領土領海外に落下	避難行動を解除する。

○登校前に発表された場合

家庭でメール配信等の連絡が入るまで待機する。避難行動解除情報の確認ができ次第、学校から「○○時までには登校してください」の連絡が入るので、それに従う。登校時刻は約1時間後をめどとし、メール配信等で連絡する。

○在校中に発生した場合・発表された場合

授業を中止し、状況に応じて避難行動をとる。